

新たに導入した植物の生育及び 開花状況

植物公園で寄贈を受けたバラ(2)

在岡孝行

昭和61年栽培記録7号にて同上の記録をした。その後もヒロシマにちなんだバラが作出され、また広島バラ会と海外のバラ会との間でバラの交換が行われ、これらが当園に寄贈された。

寄贈を受けたバラは、表のとおりである。表中(3)~(9)の品種に関する作出・導入経過等は参考事項に記した。

〈参考事項〉

- (3) 1990年日本バラ会 (J.R.C) で銅賞入賞
- (4) 1990年日本バラ会 (J.R.C) で銅賞入賞
- (5) 1990年大阪で開催された「花の万博」で住友館「バラの夢から」に植栽展示され好評を得た。名前は同館で公演を行ったアメリカンバレエシアターのプリマにちなんでつけられた。
- (6) 名前は、戦後荒廃した広島で、医者としてまた平和運動家として献身的につくされ、名誉市民となられた原田東岷氏 (日本バラ会理

事、中国支部長) にちなんでつけられた。ややフルーツ香あり。

- (7) 宇部市在住のアマチュア育種家で、バラ会全国委員長として活躍された原田敏行氏の遺作となった品種である。
- (8) 1989年、西ドイツバラ会のヨーゼフ・ラフ氏一行が来広され、広島バラ会との交流が始まった。1991年のイギリス世界バラ会議の際、バラ苗交換が決定し、広島よりヒロシマシリーズ40株が、西ドイツよりベロリナ30株が送られた。なおこの年、東西ドイツの統一がなされたことは、非常に意味深い。
- (9) 1991年、広島バラ会がドイツを訪問した際、ライン河畔の「ワインとバラの街エットビッレー」の古城のバラ園で、当地の名のついたバラと、ヒロシマのバラとの交換が決定した。この品種は広島で増殖され、1992年広島バラ会会員に配付された。なお、同市の公園主任で、バラ研究者として有名なラインハルト・ブッシュ氏は、広島バラ会と交流が深く、氏によってドイツ各地にヒロシマのバラが増えつつある。

最後に、この文を書くにあたり、資料、助言をいただいた、広島バラ園園主田頭数蔵氏、日本バラ会理事原田東岷氏にお礼を申し上げる。



ヒロシマ・アピール



ピース・メーカー

表. 植物公園で奇贈を受けたバラ

	品種名	系統	作出者, 年代	交配親	花色	花型	花径	花弁数	樹形・樹高	樹勢
(1)	Miss Hiroshima (ミス・ヒロシマ)	H T	田頭数蔵氏 1981年	ピース×マウンントシヤスター	淡ピンク	半剣弁正型咲	約13cm	約35枚	半横張性 低い	初期生育がやや遅い
(2)	Hiroshima Appeal (ヒロシマ・アピール)	H T	田頭数蔵氏 1985年	プリスタイン×カガヤキ	橙赤に裏弁黄色の複色花 開花するに従い赤変 花色は秋にはえる	半剣弁盃状咲	約13cm	約40枚	直立性 高い	強健 栽培し易い
(3)	Red Hiroshima (レッド・ヒロシマ)	H T	田頭数蔵氏 1990年	プリスタイン×エスポワール	ローズレッド	半剣弁高芯咲	約15cm	約35枚	中	中
(4)	Peace Maker (ピース・メーカー)	H T	田頭数蔵氏 1990年	ブレジント・サンゴール×チェリオ	朱紅色で弁底クリーム色 の覆輪花 開花するに従い濃色	半剣弁咲	約13cm	約35枚	中	栽培し易い
(5)	Mariana Tcherkasskey (マリアーナ・チェルカスキー)	H T	田頭数蔵氏 1990年	ブルグンド81×ルージュメイアン	スカーレット赤	半剣弁咲	約11cm	約40枚	直立性 高い	強健 花付良好
(6)	Dr. Tomlin (ミスター・トウミン)	H T	田頭数蔵氏 1990年	オーナ×フリーダム	アイボリーに中心がク リームがかかる	長書半剣弁咲	約13cm	約30枚	中	強健 太い枝がよく伸びる
(7)	Hiroshima Spirit (ヒロシマ・スピリット)	H T	原田敏行氏 1991年	ヒサミ×キンカク	濃黄色から赤変する覆輪花 秋は大部分が赤	剣弁抱咲	約11cm	約40枚	低い 花壇向き	枝は太く少ない
(8)	Berolina (ベロリナ)	H T	コルアス(独) 1986年	—	濃黄色	剣弁高芯正型咲	—	—	高い	強健 栽培し易い
(9)	Stadt Eltville (シュタット・エルトビッレ)	F	タンクウ(独) 1990年	—	明るいゼラニウムレッド	丸弁平咲	約10cm (F種として は大きい)	—	直立性	強健